

津田玄仙 医案①

一人。疫を患う。其の症、譫言、妄語、腹満、大便不痛。医者、承気湯を用い、三日にして大便未だ通ぜず。予に治を乞う。

脈を診するに、手を浮かして沈緊に似、之を按じて力無し。且つ、舌上黒苔にして破裂し、血を見る。眼中赤筋等の症之あり。即ち真武湯加犀角三哲を与え、熟睡すること一日。夜に至りて脈緩弱。大小便俱に快利す。日を経て愈ゆ。